

社会福祉法人 南山城学園

令和6年度 基本方針

【法人理念】

- 利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する。
- 地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する。
- いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する。

【基本方針】

本年度は、当法人の「中期経営計画 2025」（2020年4月～2025年3月）の5年目、最終年度となります。

長かった新型コロナウイルス禍もようやく落ち着きつつある中、著しい物価高騰の影響、全産業的な人手不足と人材獲得競争の激化など、新たな経営課題に直面しています。

これらの課題に対応して、人材の確保・定着を図るため、法人では4週6休制から4週8休制への移行、基本給の引き上げを行います。

また、令和6年度は障害福祉サービス等報酬、介護報酬が同時に改定されます。改定の趣旨に沿ったサービスの質の向上を実現できるよう、サービスの見直しに取り組んでまいります。

上記を踏まえ、引き続きサービスの向上と法人経営の両立を図りながら、地域から求められる社会福祉法人となるよう、取り組んでまいります。具体的には、下記4項目を柱として取り組みます。

1. 事業基盤の強化
(既存事業の整備や見直しを図り、基盤強化に努めます。)
2. 地域への貢献
(関係機関と連携・協働し、地域貢献活動を推進します。)
3. サービスの質の向上
(利用者様の人権を尊重し、ニーズに即したサービス提供を目指します。)
4. 職員の資質の向上
(社会福祉法人の職員として必要な資質を高めることを目指します。)

令和6年度 社会福祉法人 南山城学園 法人本部 事業計画

基本方針	事業計画 (Plan)			
	項目	内容[数値・実施時期等]	ネクストビジョン	実施時期
1 事業基盤の強化	(1)報酬改定への対応	令和6年4月の報酬改定(介護・障害)に必要な対応や事業見直しを進める。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)生産性の向上	先進技術を積極的に取り入れ、利用者の事故予防など安全面での活用、間接業務の効率化を進め、サービスの質の向上を図る。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(3)次期ネクストビジョンの策定	経営環境を踏まえ、2025年4月からの長期ビジョン(10年間)、中期経営計画(5年間)を策定する。	経営資源の有効活用	年間通じて
2 地域への貢献	(1)共生のまちづくりへの参画	SDGsを視野に入れ、住民組織、企業、NPO、自治体等と連携し、社会福祉法人の役割と機能を活かし地域課題の解決に貢献する。	創造性の発揮	年間通じて
	(2)スーパーバイザーの活動促進	法人内のスーパーバイザーについて、事業所を超えた研修指導の推進、他法人へのコンサルティングなどの諸活動を推進する。	創造性の発揮	年間通じて
3 サービスの質の向上	(1)権利擁護の強化	サービス向上PJを中心にラウンド・セルフチェックを実施し、グレーゾーン事例を共有するとともに、虐待防止と身体拘束適正化に係る義務化項目の徹底を図る。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(2)リスクマネジメントの強化	本部リスク委員会を中心とした安心・安全への取り組みにより事故低減を更に目指す。また、大規模災害を想定したBCP(事業継続計画)を強化する。	暮らしの質の向上	年間通じて
	(3)成年後見人選任のサポート	障害者施設利用者および保護者の高齢化に対応するため、成年後見人の選任を積極的にサポートし、財産管理・身上監護における本人の利益保護を図る。	暮らしの質の向上	年間通じて
4 職員の質の向上	(1)人材の確保	基本給の引き上げによる処遇改善を図り、インターンシップなど幅広い新卒採用活動を進めると共に、外国人材の円滑な受入を行う。	経営資源の有効活用	年間通じて
	(2)人材の育成・定着	4週8休制導入による勤務形態の安定的な運用を図る。	経営資源の有効活用	年間通じて